修徳

題字：伊藤博文

発行所
修徳自治連合会
広報委員会

発行責任者　篠原　實
編集責任者　多田周覚
製　　作　㈲美　芸
印　　刷　光洋印刷㈱

昭和62年度

事業最終報告

―ご苦労さまでした―

各委員会より

防火体制は完璧
―消防分団

今年も恒例の「出初式」を元旦の朝、自治連合会の「互礼会」に続いて、小学校校庭で下京消防署長視閲のもとに挙行、年頭にあたり団員一同、学区民の御協力を得ながら無火災学区の目標達成の実績を続けることを祈念した。

○

現在、市では「たばこのノーポイ運動」が展開されているが、わが修徳分団では独自に、「防火スローガン たばこのポイ捨てをやめよう!!」の、標語のぼりを作製、各町内に配布し、区民の方々に自主防火と街の美化を呼びかけている。(この項、去る一月二十九日付京都新聞市民版記載)

○

秋の全国火災予防週間中に実施した町別行事は次のとおり。

11月27日PM6時より（御供石町）映画防火座談会。
11月29日AM10時より（大堀町）消火器実験会。
PM1時より中野々町と徳万町合同で消火器実験会。
12月2日PM7時より（高砂町）映画防火座談会。

各参加者最後迄火災救急についての再知識を勉強。

○

団員表彰次のとおり（10月14日・16日）

府知事功労彰　小野喜代蔵
市長功績彰　山田　啓二
〃　山崎　尚芳
市長永年勤続彰　佐倉　道彦
〃　川幡　貞雄

尚、当分団では緊急出動も含め予定行事は順調に消化しておりますが、今後、尚一層きめ細かな予防活動を展開し、学区の防災に速やかに対処できる様、団員一同励みたいと考えております。（消防分団・小野）

ご協力に感謝
―社福協

＊下京チビッ子まつり

九月六日残暑の中、第三回「下京チビッ子まつり」が、今年は近隣六連合学区担当で、鴨川河川敷に於て午後一時より四時迄盛大に開催。魚つかみ・ミニ動物園・落書コーナー・模擬店等会場一ぱいに、約四千人の親子共々の大歓声につつまれ、暑さを忘れた楽しい半日であった。

修徳では、前売入場券一五〇枚を、小学生を中心に無料配布した。

少年補導委員会、消防分団、交通指導員、各役員の方々のご協力に大感激。

＊敬老　朝の散歩会

九月十五日、今年も西本願寺正門まで、五〇名近くの方々が元気に参加。

体振、交対協の役員の方々のご協力に感謝。

＊老年交通安全教室

九月二十七日午前十時より、学校の講堂にて落語一席と婦警さんによる交通教室を開催。約七〇名が参加。交通対策協議会と共催。

＊長寿祝

師走中旬、満七〇歳以上（大正六年八月三十一日生迄）の二九四名に、辰年湯飲みに煎茶をそえ、各お宅へ。

以上が本年度の主たる実施行事でした。来年度は、更に充実した方策を考えていきたく存じおります。

（社会福祉協議会・松本）

充実感ここにあり
―婦人会

本年度は、〝婦人と福祉〟をテーマに取り上げ、主として、老人福祉について学習し、地域づくりに協力致したく思いました。

第一回　7月13日
「福祉事務所の業務内容施策および対策」
下京福祉事務所所長　山田　宏先生

第二回　8月20日
「地域福祉とボランティア」
婦人問題研究員　種田美津子先生

第三回　9月28日
「高齢者の食生活のあり方」
下京保健所栄養士　田中洋子先生
（講義の後料理実習をする）

第四回　10月23日
「高齢者に対する思いやりと実践活動」
婦人問題研究員　玄武淑子先生

第五回　11月29日
独居老人とふれあい会食会
（第三回講習会で受けた献立により、会員にて昼食を調理、小学校会議室に独居老人の皆様を招きささやかな手料理ではあったが、共に楽しく、なごやかな話合いのひとときを持ち、実践活動への第一歩を進めることが出来た。）

以上五回、会員さんの熱心な参加により、毎回充実した会となり、感謝致しております。老人数が京都市で一一・四%、下京で一八%、修徳学区では二〇・九%で、当学区は四人に一人が老人との高い率である事を知り、ますます地域福祉、老人問題を考える勉強の必要を強く感じています。

（修徳婦人会・松田）

生かそうボランティア精神
―少年補導

11月1日、京都市主催のメルヘンピック京都87」に協賛参加。参加者七十五名。子供の広場として種々催物あり。洛北宝ヶ池公園で一日を楽しく過す。

○

12月6日、補導委員研修会。信楽の宗陶苑で陶芸教室と大池寺の庭園見学会。参加者一人ひとりが名工よろしく力作完成。

大池寺の庭園は遅れ乍らの紅葉の真最中。当日は寒く雪も降り、対照的な景観に一同満喫した。

○

1月15日、第二回修徳ふれあい広場協賛事業として「餅つき」を担当。全役員の大奮闘とピッタリ合ったチームワークでスムースに完全消化。簡単な様で諸準備、当日の人材確保に、なかなかの労苦。然るに、大会の主旨に反し、現物だけを取りに来る人を見受けるのは、実に淋しい。今後一層学区民の方々に主旨を徹底し、やりがいのある事業としたいものである。

これにて本年度少補独自の事業は全部終了。本年度は特に母親クラブ、区民の方々のご協力により各事業が盛大に終了した事に対し厚く御礼申し上げる。

（少年補導委員会・山村）

共同募金と日赤

歳末赤い羽根の共同募金は、学区皆様方の温かい御協力を得、二九一、四〇〇円を京都府共同募金会支部へ納入。各町委員の御苦労に感謝。

又、11月26日㈭京都会館第一ホールにて、日本赤十字社名誉副総裁三笠宮妃殿下ご臨席のもと、京都府赤十字大会が盛大に挙行。その節、川上和子さんが、赤十字社社長より日赤奉仕団指導者功労賞と、日本赤十字社京都府支部長より感謝状を受賞された。

（日赤奉仕団・共同募金担当・浅野）

今、学校では

本校は年々の児童数減少で現在一二九名という少人数ではありますが、その利点を生かし、児童の指導にあたっています。

数年来より取り組んでいます異年齢集団による教育活動も六年生を中心に定着し、全校児童の心の交流が密になってきました。

本年は特に、四・五・六年生合同で「全市学童音楽会」に参加でき相互に学び合う態度が育ってきたのはうれしい限りでした。

その他日々の清掃活動・遠足・児童会活動にもたてわり班偏成が活用されています。

上級生が下級生の世話をしながらリーダー性を養い又下級生はそれを学び取って成長していく態度は、家庭に於ても兄弟が少なくなってきている現在、社会性や協調性・思いやりの心を培う大切な一面があると存じます。

遊ぶ所も出来るだけ校庭を活用するよう一輪車・竹馬・ボール・その他の遊具を整備しています。おかげさまで多くの子どもたちが放課後も遊んでいます。

今後共よろしくご協力下さいますようお願い申し上げます。

（文責・和田）

めざめて欲しい―健康管理

本年度の市民検診、献血の実績を前年度と比較してみました。

年度	市民検診受診者数		献血実績表		
	X線	一般健康診査	受付者数	採血数	不適
61	161	131	103	88 (15)	15
62	167	152	99	86 (17)	13

（　）内は400㎖採血者数

表で見られるとおり、市民検診の方は漸増の傾向にあり、大変嬉しいことですが、献血の方はもう少し認識を高める必要があると痛感しております。只、400㎖採血者が増え、不適者数が減ったことは、心強い限りです。

自分の健康は、自分が管理したいものです。40歳以上の方は一人でも多く検診に参加してください。

（保健協議会・大沢）

修徳一如

自治連合会長　篠原　實

「日々雑感」

穏やかなお正月。今年も元気に互礼会。辰歳寿ぐ挨拶に、修徳丸は安泰だ。

消防分団の出初式。花登署長の激励に、団員一同大緊張。決意新たな皆の顔。

金余り、土地あさり。勢いづいてデマを呼ぶ。学区内にも飛火して、楽しいムードにすきま風。値上げ値上げも、国会動いてひと休み。過疎化の波は町並を、次から次へと変えていく。木造家屋が無くなれば、その後に建つのはビルマンション。新世帯、狭いところへ値が高く、住むに残れずサヨウナラ。

何んとかしないと町廃る。住みよい楽しい街づくり、まだまだ問題残ってる。違法駐車も増えてきた。洗濯物も目に余る。みんなで協力促して、融和協調、学区の品位高めよう。

「初　夢」

益々進む長寿の社会。老後を楽しく修徳で、過ごせる施設があれば良い。老人ホームも各学区、一つは建設して欲しい。

「第二回修徳ふれあい広場」

成功成功大成功。今年も返事が学校に、風船届いたところから、拾った児童のところに友達でき、うれしい返事書き。

声届く。

ぼくが一月十五日に、ふうせんをひろったよ。ありがとう。こんどしょうがっこう一ねんになります。すいえいにはいっていないけど、ぼくもやってみたいなー。

またいのうえくんのこと、いろいろおしえてくださいね。てがみまってます。　まついとおる

愛知県東加茂郡足助町大字切山字西久保一七

愛知県・一。滋賀県・四。

（一月二十六日現在）

便利で一番おトクな㊐マルユー専用預金
にししん
新型 期日指定定期預金
心とこころ　明るい地元
西陣信用金庫
五条支店　下京区五条通烏丸西入ル　☎(351) 2345・5720

京信スイスフラン口座
㊐ワクを越えた資全運用に最適！
安全・確実で1ヶ月たてば、お引出し自由
好確定利廻りです。
京都信用金庫西洞院支店
下京区松原通西洞院東南角　TEL. 371―2349

年金・給与振込は中信で
会社も社員の方がたも、メリットがいっぱい！
㊐と1年複利でふえ方最高、有利で便利
中信期日指定定期預金
ジャンボ
五条西洞院に71番目の店舗
中信五条支店☎351-2951

25

第2回 ふれあい広場 ゆとりのひと時

区民の団らん どんどと共に……

ふれあい広場実行委員長　入江　博三

「みんなで築こう楽しい修徳」のスローガンを具体化する一つとして、先づ区民がお互にもっと知り合い話し合う場を持とうという事で発足した「修徳ふれあい広場」は二年目を迎え、今年も一月十五日（成人の日）午前十時より修徳校々庭を会場として行われた。午後二時三十分の閉会までに訪れた人は七百五十余、時々小雨のおちる生憎くの天気にかかわらず第一回を上廻る区民が参集された。役員一同は背に祭と赤く染め抜き襟に修徳ふれあい広場と印された絆纏を着用して参加した。

十時開会宣言、国旗掲揚、篠原自治連会長の挨拶と続き、府警音楽隊三十名を先導に区内パレードの出発となった。折からパラつく小雨のため道順を短縮したが約二百名のパレードは各町内に消防団がたてかけた、「たばこのぽい捨てをやめよう」の旗を見ながら、環境浄化と少年非行防止をうたって行進した。

校庭に帰ると早速児童による風船あげが行われた。四百個に増やされた赤、黄、緑と色とりどりの風船は、それぞれに手紙をつけて天空高く舞い上っていった。遠く愛知県下を始め栗東町、八日市市等々より便りが学校へ届いたとの事である。

▶小雨もなんのその

引続き警察音楽隊伊東楽長指揮による演奏は講堂で行われ、懐しい小学唱歌からビートルズナンバーや演歌まで聴衆を十分に楽しませていただいた。

十二時よりどんど焼きの火入れ、待望の模擬店の開店となり、餅つきの杵の音、たこやきの香い匂い、きつねうどんの食欲をそそる温い湯気に引込まれて、どの店もお客様で大賑いになった。中村下京区長も上衣を脱いで一臼餅つきを楽しんでられた。

今年初参加の消防署提供のミニ救急車は子供達の人気を独占し、乗り場は順番待ちの行列が絶える事なく消防署員の方は運転に休む暇もなく、本当に御苦労であった。紙芝居のテントは水あめを口にした御客で一杯。少補学生班のお兄さんお姉さんの熱演に見入っている学童の姿に大人たちは、昔の自分の姿を見出すようであった。又どんどコーナーで行われた焼いもはその大きさ、出来具合すべて満点で子供は勿論、御婦人方に大人気、焼き上るのを待ち切れず引っ張りだこであった。

ぱらぱらと落ちていた雨が一時過ぎより小雨といった感じになってきたが、中央のどんどの火は愈々赤く燃え上がり、修徳区民の愛の心そのものの様に思われた。それにつけても役について頂いた役員の皆様方は、それぞれのリーダーの下にチームワークよろしくてきぱきと手際よく動いて頂き、無事「修徳ふれあい広場」の一日が終る事が出来、本当に有難かった。紙面をかりてここに改めて御礼申しあげると共に、今までの経験を活かし、より充実した第三回目の開催を目指す覚悟である。今後共、宜しく御指導御鞭撻下さる様、お願いする次第である。

建設的にひとこと

前年とあまり変化がなく少々物足りなく感じました。〝おぜんざいコーナー〟が無くなったのなら、それに変る何かあればとも思います。

子供さん達の参加は多いと感じましたが、役員さんを除くと、大人が少なく、淋しいのでは――。どの様な催し物が年齢に関係なく喜ばれるかが、長くつづくポイントではないでしょうか。（御供石町・滋賀）

こたえよう!!この誠意

今回のふれあい広場は、曇り空ではありましたが盛大に開催され、子供達からお年寄りの方まで、どんどを囲み楽しくおしゃべりに花を咲かせ、模擬店の手づくりグルメを賞味して、一日を楽しく過す事が出来ました。

これまでの計画、準備等お世話下さいました実行委員会の方々に心より「ありがとう」と申し上げたいと存じます。

ただ、町内に居住している方の参加が多く、事業所の責任者の方や社員の方のお顔が見られなかったのが淋しく感じました。

当町内では平井町内会長さんが、一軒一軒このイベントの説明、模擬券の申し込、当日の参加をすすめられるという舞台裏のご活躍に、挙って参加しようとする気運が湧きあがりました。

人と人の出合いを大切にしてこそ、地域の発展があり、また、その中にあって始めて自社の発展が、我が家の円満がある事を再確認いたしたいものです。

（高砂町・村山）

▶昔懐しい紙芝居

もてもてのミニ救急車

今回も、大勢の方の参加があり、特に役員の方々の揃いのハッピ姿が、一そう、パレードを盛り上げました。

餅つき、どんど焼、風船揚げ等、前回にも増して、役員の方々のご尽力により、盛大なイベントになりました。今年は、子供達の願いごとが風船に乗ってどんな所に飛んで行ったのか楽しみです。講堂では、音楽隊によるすばらしい吹奏楽を、聞かせていただきました。

小雨がパラつき、お天気も悪かったのですが、どんど焼のそばで、暖を取りながら、温かいおうどんや、きなこ餅、たこ焼等に、舌鼓みを打つ、近所の方々の楽しい語らいがあちこちで見うけられ、また乗用ミニ救急車が子供達を乗せて、ところ狭しと校庭を、走り回っていたのが印象的でした。

寒い日が続く今日この頃、つい家の中へ閉じこもりがちですが、この様な一同が集うふれあいの場ができて、大変良かったと思います。今後も、よりすばらしい広場に発展いたします様、心から願っております。

（薮下町・上田）

うれしい気配り

「ふれあい広場」は、冬に行事のない当町にとっては、又とないイベントです。大いに楽しんでもらうべく、食券を町費で賄い、御希望の方にお配りしました。その数三十二枚。

当日はあいにくの小雨で、パレードの足並が早く、お年寄りがついて行けず、近道を案内して帰校しました。会場での催物は、巧みな演出、手際よい進行で、日頃の疲れを忘れることができました。特にお世話して下さる役員さんの気配りは、町内の役をしている私には、よい勉強になりました。

ドンドを囲み、焼芋をほうばりながら話をしたのですが、うどんとお餅はおいしいでしたが、タコ焼の味はもうひとつ……。又、室町界隈にしては和服が少なく思えましたので、来年は、会場で振り袖姿が見られますような企画をたててもらえたらいいなあと感じました。

（深草町・内田）

クリーンヒットの●●●うどんコーナー

大江町では、一月九日に毎年恒例の新年会が催されました。

四十一名の多数の方々に御出席を賜わり、和やかな内に、町内の親睦を深める事が出来ました。

又、当町では、修徳ふれ合い広場へ積極的に参加いたし、昨年と同様に、きなこ餅、たこ焼き等の模擬店で、皆さんと楽しく語り合うことができました。

特に、婦人会の皆様による昨年のおでんが、今年はきつねうどんに変わり、小雨降る寒い日でしたが、体も暖まり、とてもおいしく頂だく事が出来ました。

それぞれにお世話頂だいた皆々様、本当にお疲れ様で御座居ました。有難うございます。

（大江町・長谷）

たてまえより本音で

「ふれあい広場」へ町内あげての参加!!をめざして、御供石町では一家に2枚の模擬券が配られました。当日はあいにくの小雨模様で欠席の方もありましたが、朝には組長さんからおさそいの声もかかり沢山の参加となりました。

カゴをさげて「お隣りさんの分ももらいにきました」という方もあり、学校へ行けなかった人にも、暖かい想いの籠ったおもちやおウドンが届いて、「全員参加のレクリエーション」としては、まず成功だったと思います。ただ「大人だけで行くのはどうも…」という声もあり、子供中心の催しというイメージがあって、大人の方々の参加が少ないのでは、と思いました。

そして、大勢の役員の方々の努力と熱意が、町内一人ひとりに伝わればもっと沢山の参加が望めるのではないかと思いました。このイベントで、より強く大きな和が町内中、学区中に広がる事を願い、来年を楽しみにしております。

要は、行事があるから参加するのでなく、積極的に協力することが大切ですね。

（御供石町・兼子）

万事めでたく終了

ふれ合い広場の催事に当り、毎年乍ら各役割分担の方々の御苦労に対し、深く感謝の意を棒げます。さて、今回は残念乍ら、パレードには参加出来ませんでしたが、修徳模擬店、味自慢のオール三品、洩れなくがっぷり頂き、いただき……。

いよいよ、六十二事業年度も終末に近づき、期間中の町人口動態は、減二、増一で、前回発表の一世帯二・五名の線は、殆んど差異無し。

この一ヶ年、よりよき町雰囲気をかもし出していただいた佐々木町会長殿。誠に御苦労でありました。そして新しく選出される次年度の町会長殿に期待すること、誠に大、よろしくお願いいたします。

（玉屋町・安川）

人事往来

【転入】梅原秀夫（玉屋）

☆

【転出】佐藤艶子（玉屋）
黒中　清（高砂）

☆

【訃報】数井絹枝（玉屋）
西山道賢（中野之）

あとがき

○

いつも乍らの協力的なご投稿、ありがとうございます。

○

そのわりに、ありふれた編集にて、申訳けなく思っております。お許し下さい。